

## なんだ・かんだ

### ◆ ネット通販の普及と宅配便運転手の不足 ◆

このところ、宅配便の運転手の不足が問題になっています。ヤマト運輸がアマゾンの即日配達便から手を引く話が大きく報じられ、遂に昨日同社は秋からの運賃の値上げを発表しました。

先日ある会でトラック運送関係の方が話をされていましたが、日本全国で輸送トラックは現在170万台あるそうですが、昨年1年で人手不足により5万台のトラックがなくなったそうです。「このペースでいくと10年で1/3減ってしまうよ。」と話していました。

一方、平成27年度の国内の宅配便取扱個数は、37億4,493万個。前年度と比較すると、1億3,114万個増、3.6%増えています。

この人手不足は、ネット通販の普及で宅配個数が年々増えていることに加えて再配達という仕組みが配送効率を下げているのが原因です。

当社でもここ数年ネット販売に力を入れてきましたが、もしここで運送会社さんが運賃の大幅な値上げを要求してきたら、大きな痛手となります。ネット通販は、高ければ売れません。数百円で全国へ配送してもらえるからこそ成り立っているのですから。

この課題に対して、各方面でいろいろな対策がなされています

楽天は同社のネット通販の商品を1回の配送で受け取ると、購入時に付くポイントが3倍になるキャンペーンを期間限定で始めました。再配達削減の効果が見込めれば、継続的に実施していく考えだそうです。

同様のキャンペーンは日本郵便も先月末に打ち出しています。郵便局や宅配ロッカーで通販で購入した荷物を受け取ると、共通ポイント「Ponta(ポインタ)」などのポイントがもらえるそうです。

クロネコヤマトでは、DeNAと共同開発で、「ロボネコヤマト」と銘打って、無人配送の試験運用を神奈川県藤沢市で始めました。配達先は自宅以外のどこでも指定でき、配達先に車が到着するとスマートフォンに連絡が入り、お客様が自分で車へ取りに行き、あらかじめ受け取ったパスワードを使って商品を車の中の棚から受け取るシステムです。

西濃運輸では、長距離のトラック定期便を原則、鉄道輸送に切り替えるそうです。長距離便は運転を交代するため運転手が2人必要ですが、鉄道を使うことで、運転手の数が約1割減らせる見込みだそうです。

各社が人手不足の解決に試行錯誤している一方で、アマゾンでは生鮮食料品を最短注文から40分というサービスを東京の一部地域で始めました。毎月500円を払えば、何度でも利用可能と言う事です。

まったくこの先ネット通販はどうなっていくのでしょうか、ネット通販で生き残るのは、自前の配送システムを持つことが出来る超大手の企業だけなのでしょうか。

また、10年後には空を見上げると無数のドローンが荷物を運んでいるという光景が日常化しているのかもしれませんが。



### ■ クールビズ ■

例年、6月1日から始めていたクールビズですが、本年から5月1日から10月末日までの6ヶ月間をクールビズの期間とさせていただきます。気象庁でも、この夏は全国的に厳しい暑さとなると予想しています。ここ数年、役所や銀行でも5月からクールビズとなっている様です。当社でも右に倣え、ノージャケット、ノーネクタイで失礼いたします。尚、今年のゴールデンウィークは、4/29~5/7の9日間をお休みするメーカーが多い様です。期間中操業されるお客様は在庫等ご確認の上調整願います。

## 満開の桜

やっと暖かくなってきたと思ったら、4月の半ばには25度を越える夏日が数日続き、アンダーウェアを長袖のヒートテックから半袖のTシャツに替え、厚手の毛布もしまいました。何しろこの所の天気は暑いも寒いも極端で困ります。

さて、ここ数年この季節に桜の花をゆくり見ることがなかったのですが、今年は桜の咲いている期間が長かった事もあり、久しぶりに満開の桜をゆくり楽しむことが出来ました。

この4月に新しく社会人となった息子が、初めて一人暮らしをすることになったのですが、住むことになった寮の直ぐ横を流れる川の両岸に桜並木が続き、並木の下には遊歩道が整備されているので、家族連れやカップルなど大勢の市民で賑わっていました。途中にある公園にも桜が咲き乱れ、ここでもシートを引いて花見の宴がそこかしこで開かれています。私たちが家族で風が吹けば桜吹雪の舞い散る中、ゆくり散歩をしながら満開の桜を堪能出来ました。このまま時間が止まって欲しい様な、実に平和で心穏む 時でした。

代表取締役 服部 徹 郎

## 新入社員紹介

● 平山功奈 ● 営業部 営業二課  
本年4月より当社に新しいメンバーが増えました。まだ十代の本当にフレッシュな好青年です。まずは自己紹介を。

今年度4月1日より入社いたしました平山と申します。所属は営業部 営業二課です。それでは、私の自己紹介をさせていただきます。

生まれは伊豆の国市で、出身高校は田方農業高校、その後専門学校に進学し、大原簿記で1年勉強しました。

高校では園芸科に所属しており、部活動でも園芸に携わる活動をしていました。専門学校では、よさこい部に所属していました。部活動では、人間関係の大切さや仲間と喜びを共有する楽しさなど、様々なことを学ぶことができました。

私は小柄で頼りないところもありますが、若さを十分に発揮し、部活動や学校生活で得た経験を活かし、皆様のお役に立てるよう励んでいきたいと思っております。

まだ学生気分抜けのない私ですが、先輩方や皆様から刺激を受けて、一人前の社員となれるよう日々努力してまいります。

皆様にはご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、精一杯頑張らせて頂きたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/